

テンプレート

名前

番号

補足

1 見出し

1.1 見出し

1.1.1 見出し

■1.1.1.1 見出し

1.1.1.1.1 見出し 見出し

- リスト
- リスト
 - リスト
 - リスト

スペースを 2 つつけば改行できる

1 行空行を空けると [^1] 別のパラグラフになる。

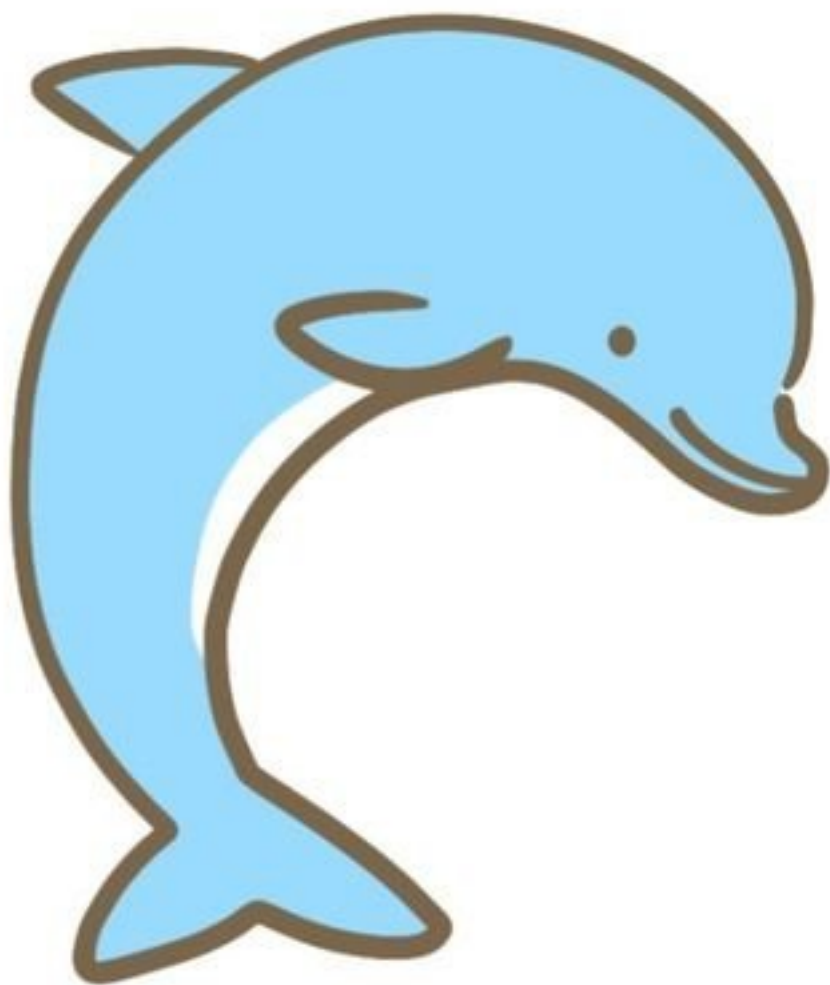


図 1: イルカ

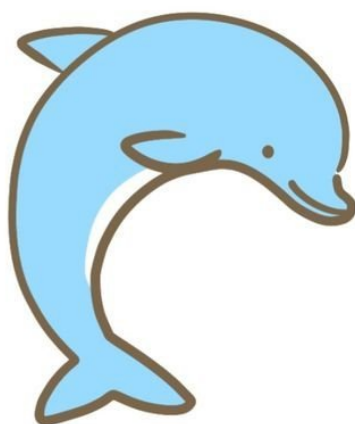


図 2: イルカ高さ調整

表 1: 表の例

i	j
1	3
2	2
3	6
4	5
5	1
6	4
7	2
8	6

表 2: 表の例 2

列 1	列 2	列 3
ポカリスエット	2	40
アクエリアス	2	21
ダカラ	3	8

この辺で改ページ

2 数式

2.1 インライン

$$E = mc^2$$

テストテスト $a_n = \frac{1}{\pi} \int_0^{2\pi} f(x) \cos nx dx$ テストテストテストテスト $b_n = \frac{1}{\pi} \int_0^{2\pi} f(x) \sin nx dx$ テストテスト

2.2 ブロック

$$f(x) = \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} a_n \cos nx + b_n \sin nx \quad (1)$$

2.3 ギリシャ文字

$\alpha, \beta, \gamma, \delta, \Delta, \varepsilon, \theta, \lambda, \mu, \nu, \pi, \rho, \sigma, \Sigma, \tau, \phi, \omega$

$$\frac{\partial f}{\partial y} \frac{df}{dx}$$

3 ソースコード

4 参照

1. 図 1 イルカ
2. 図 2 イルカ高さ調整
3. 表 1 表の例 1
4. 表 2 表の例 2
5. 式 1 数式
6. コード. 1 コード

参考文献

{-} をつけるとこのセクションには見出しに通し番号がつかない。

コード 1 コード

```
10 .l-column{
11     flex: 0 1 $base-content-width;//横幅が base-content-width になり、他と比べて 1 縮む、拡大しない
12     max-width: $base-content-width;//最大幅を決める
13     margin: 0 auto;//左右に自動でマージンをとる。おそらく max-width より画面が大きい時の対策
14     padding: 0 $space-unit;//sectionborder からの padding
15     @include mq-sp{
16         padding: 0 $sp-space-unit*2;
17         width: auto;
18     }
19 }
20 .l-halfColumn{
21     flex: 1 0 0%;//1 0 0%と最後に % をつけないと px とされてしまうバグがある
22     //0 としておくことで、柔軟に拡大縮小される
23     //拡大分は 1 で、縮小分はもともと 0 なので問題なし
24     max-width: ($base-content-width - $column-space)/2;
25     margin-right: $column-space;
26     &:nth-child(even){//偶数個目の要素の margin-right をキャンセル
27         margin-right: 0;
28     }
29     @include mq-sp{
30         display: block;
31         flex: 1 1 100%;
32         max-width: none;//max をなくしてかつ flex-basis を 100% にすることで画面幅いっぱいにする。
33         margin-right: 0;
34     }
35 }
36 });
```
